

# 区政のここが聞きたい

# 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



## 東京で一番の教育を目指せ!

自由民主党目黒区議団 清水 まさき 議員

**<新教育長の教育方針>**  
未来を担う子どもたちの、よりよい教育環境を創出するための課題と施策の展開について、新教育長に教育方針を問う。  
**教育長** 目黒区の質の高い教育のさらなる充実に努めるとともに、喫緊の課題であるいじめや体罰、不登校など、子どもの健全な成長を保障するための課題についても十分に意を注いでいく。

**<区立中学校の統合>**  
子どもたちの「生きる力」を育むための教育環境、生活環境の整備改善を目的とした、新統合の大鳥中学校の成否が、今後の南部・西部地区の取組みに大きな影響を及ぼすと考えられる。(1)大鳥中学校の開校に向けて、これまでの取組み状況と、保護者、地域への期待感の醸成という点で平成26年度の取組みについて問う。(2)第三・第四中学校閉校後の両校の軌跡を残すための考えについて問う。

**教育長** (1)保護者、地域の方を交えた協議組織で様々な課題を協議してきた。両校の生徒が統合後の人間関係で不安を生じないよう、平成25年度は1年生を対象に3回の交流活動を実施した。今年度も実施し、コミュニケーションの醸成に努める。また、校章、校歌の作成、標準服の選定に、校区の小学校の生徒や保護者にも参加いただき、期待感の醸成に努めている。(2)両校の校旗や記録写真、広報誌などの歴史資料を大鳥中学校に保存す



## 区有施設見直しの具体化へ! 待機児童解消へ前進せよ!

刷新めぐろ 香野 あかね 議員

**<区有施設見直し>**  
(1)区有施設見直し方針において、集約化などが今後の方向として示された。施設の種別を横断した効率的なあり方、集会所の集約化についてどう考えるか。(2)隣接学校選択制の検証を行うとして。国では小学校規模は12から18学級が標準とされている。敷地が小さな目黒区の各学校に他の施設を複合化することありきの議論や計画ではなく、子どもの施設の併設など今のような必要最小限にとどめ、学校規模を適正に保つべきだ。学校についてどのように考えていくのか。  
**区長** (1)施設の集約化は、区有施設見直しの重要な手法の一つである。現時点では、具体的な見直し内容の検討を行っ

る。また、両校の記念碑の製作も考えている。

**<学校選択制>**  
(1)学校選択制のメリット・デメリットについて問う。(2)学校選択制導入後の地域社会での学校の役割、震災時等の対応など学校選択制との整合性について問う。  
**教育長** (1)各学校が特色ある教育活動の展開に努めるなどの成果がある一方で、希望集中により一部の学校が小規模化した事例がある。(2)学校は地域避難所であり、地域との連携・協力の強化が求められるため、学校の役割と学校選択制の関係について検証を進めていく。

**<めぐろ子ども会議のあり方>**  
(1)正しい認識を持ち、いじめのない学校を目指そうとする健全な心を育てるためめぐろ子ども会議のこれまでの検証と、今後のあり方について問う。(2)中学校区単位で開催するめぐろ子ども会議の今後の進め方、構成、あり方等について問う。

**教育長** (1)実施方法の見直しにより、いじめ問題と真剣に向き合う意見が多数出され、分科会で司会・進行を務めた中学生に責任感が生まれた。今後は、児童・生徒が感じたことを素直に表現できる環境をつくり、結果を還元し、さらに検討を重ねていく。(2)各中学校区の会議がよりよいものとなるよう、全中学校区での参加者の人数、事前・事後学習の充実に工夫を重ねていく。



## 「ユニバーサル社会」全てのの人にやさしい街・目黒を!

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

**<防災避難対策>**  
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等により、国内外から訪れる方が増えるため、震災時に、誰もが安全に避難できる対策が必要。(1)情報等を絵文字化した「ピクトグラム」の避難誘導標識の設置が必要と考えるがいかがか。(2)目黒区の防災アプリも多言語対応の必要があると思うがいかがか。

**区長** (1)誰もが安全に避難できるよう、絵文字や地図を使用した標識を設置することは重要な課題と考える。効果的な設置場所の確保、適切な表示内容など検討すべき課題も多いので、引き続き調査研究に取り組んでいく。(2)外国人人口の動向なども注視しつつ、防災地図及び防災ガイドなどの更新時期を捉え、他の言語への対応を検討する。

**<認知症徘徊見守り>**  
これからの高齢化社会を考えると、認知症による徘徊が増え、家族だけでは見つ

けることが難しい現状がある。命にかかわることもあり、早期発見による保護が大事。(1)「認知症サポーター」などと警察、行政の連携強化ができないか伺う。(2)兵庫県たつの市では、認知症徘徊者の靴に蛍光式ステッカーを貼り管理。捜索時、このステッカーを目印にサポーターが声を掛け、早期発見・保護している。区の対策を伺う。

**区長** (1)行方不明になり、警察署へ捜索願が提出された場合、区は、消防署、包括支援センター、生活安全パトロールへの捜索依頼のほか、家族の同意を得て都福祉保健局への捜索依頼、都を通じた近隣県への情報提供依頼など、即時の対応をしている。今後は連携を強化し、早期発見に努める。(2)大都市地域でステッカーをつけた登録者を見守るためには、広域的な体制整備が必要と考える。国や都と連携した取組みの構築が必要であるため、引き続き調査研究をする。

目黒区議会は、インターネットの「目黒区議会ホームページ」の中で、区議会の仕組み、本会議の議決結果、議員名簿などを掲載しています。

**目黒区議会** **検索** からご覧ください。

また、目黒区議会ホームページ掲載の情報をお知らせするために、パソコン向けに「めぐろ区議会メルマガ」を配信しています。

「めぐろ区議会メルマガ」は、目黒区議会ホームページから登録できますので、ご利用ください。

<問い合わせ>区議会事務局広報係 ☎ 03-5722-9415

てどうしていくのか。認可保育園の定員拡大をすべきではないか。(2)1歳児からの入園の保育園を増設しても、無認可に預けられている子どもが優先される。育児休業の切り上げにつながるのでは他区指定しているの、防災機能の強化を図る観点も重要。また、地域コミュニティ拠点、地区施設としての機能集約の点からの検討も重要と考える。  
**教育長** (2)区有施設見直しと小学校の規模のあり方の関係は、現時点では特に考えていない。  
**<子育て支援>**  
(1)区の調査の結果では、希望する育児休業の期間は12カ月以上が最も多い。1歳児クラスの入園申込みが多く、待機児童が100名を超える。この状況を踏まえ

を基本に取り組む一方、多様な保育ニーズに対応する取組みも行っていく。1歳児の定員拡大もこの中で検討していく。(2)現在の仕組みが、育児休業を切り上げて復職するという結果を生み出していることは認識している。負担の大きい保育料を支払っても認可外保育施設などを利用しなければならない世帯は、親族などによる保育が可能な世帯より保育に対する逼迫度・緊急度が高く、現行の入園審査の仕組みは必要と考える。(3)3歳児の受け皿の検討には多々課題がある。事業者の考えや他区の対応を確認しながら検討を進める。(4)国の調査協力依頼を受け、各所管の情報について、現在とりまとめを行っている。



## 平和憲法を擁護せよ、国保料の値下げなどで生活を守れ

日本共産党目黒区議団 星見 てい子 議員

**<集団的自衛権容認について>**  
安倍内閣が進める集団的自衛権容認は憲法違反である。(1)目黒区平和都市宣言で「平和憲法擁護」が述べられた経緯を伺う。(2)現憲法下で、集団的自衛権の行使は可能だとの安倍政権の見解について区長の態度を問う。

**区長** (1)戦争の教訓から、区民の平和な暮らしを守ることが大切と認識し、戦争放棄をうたう平和憲法を擁護し、明るい豊かな人間のまちを目指す決意を示したものである。(2)日本の安全に関する重要な問題であるため、十分な議論を重ね、慎重に検討すべき事項である。

**<区民税滞納の差押え>**  
区の差押えが5年で1,000件も増え、行き過ぎた差押えが生活困窮者を追い込んでいる。(1)給与などの差押え禁止財産が振り込まれた場合、預金のお金差押え即時換価を変更すべきである。(2)職員一人あたり約1,200件もの滞納案件を抱えている。公平でいいいな徴収を進めるために職員を増やすべきである。

**区長** (1)預金等の差押えまでには、督促状、催告書を送付し、差押えの前に差押予告を送付している。生活の困窮など強制徴収が適当でない場合は、最低限の生活を維持するため徴収の緩和措置や税の減免措置が制度化されている。(2)限られた職員で最大限の効果があがるよう実務能力や知識の向上、人材の育成に努めている。今後も取納率の向上と滞納額の縮減に向けた的確な徴収行政を進めていく。

**<青天井の国民健康保険料値下げ>**  
10年来の値上げで滞納が約1万3,000世帯になっている。(1)区長会合意の高額療養費などへの区税投入削減を中止せよ。(2)国民健康保険料は来年度も値上げ予定である。区議会は課題の整理段階から情報開示せよ。(3)国民健康保険運営協議会を十分議論ができるように改善せよ。

**区長** (1)高額療養費は本来、賦課総額に算入すべきものであるため、国保運営の都道府県化を見据え、今後4年間で順次導入していく。(2)特別区として統一保険料方式をとっているため、区長会で決定されるまでは行政内部で議論すべきと考える。(3)被保険者代表委員は民生児童委員協議会の推薦を受けて委嘱しており、広く公募することは考えていない。

**<斜面・崖地の環境確保と防災対策>**  
「斜面地条例」は一定の成果をあげているが、地下室マンション建設には歯止めがかけられないなど、震災・水害対策でも問題がある。(1)対象地域の拡大、地下室規制など「斜面地条例」の改定を進めよ。(2)補助の増額など、けが・擁壁改修助成制度を拡充せよ。

**区長** (1)斜面地建築物の容積・高さなど法規制との乖離が顕著に現れるのが第一種低層住居専用地域である。現行の地域で条例の目的は達成できると考えており、適用地域の拡大は考えていない。(2)擁壁の倒壊は避難路閉塞につながる場合があるため、助成額の上限の引上げについては、必要性も含め今後検討していく。



## 子どもいじめ対策と高齢者の介護問題は根本的な解決を

広吉 敦子 議員

**<いじめ防止対策条例、いじめ防止基本方針>**  
(1)いじめ防止対策条例案検討の際は子どもの人権の視点を入れること、また、いじめの背景には子どもを取り巻く生活環

境全体に影響があるため、福祉の視点を取り入れよ。(2)いじめに関する調査は細心の注意を払うべき。教師が子どもと関わる時間を増やし、教師間の協力体制を重視すべき。最終的に教育委員会と



## 障害者自立支援・第6期介護保険改定はどうあるべきか。

自由民主党目黒区議団 飯田 倫子 議員

**<障害者自立支援>**  
(1)平成5年から国は障害者の地域生活上を支援骨子としてきたが、3年毎の本区の計画は自立につながるものだった。その目標達成の成果を問う。(2)雲仙市のように特産品生産販売等就労支援の仕組みを確立できないか。親亡き後の自立を確保してあげるべきではないか。

**区長** (1)目黒区障害者計画では、自立支援のサービスを促進するため、障害者通所施

設の確保を掲げている。施設の拡張、整備により、平成27年度以降の利用定員を最大24名増やす対応をしている。また、計画に基づき推進している145事業中、「目標を上回った」目標達成の成果を問う。一般就労の拡大と合わせ、特産品など競争力のある製品開発を推進し、障害者の安定雇用、収入向上に取り組む。

**<介護保険第6期改定>**  
(1)アンケート結果を分析し、要支援2



## 大変な時代に、自治体の進むべき道は

無所属・目黒独歩の会 坂本 史子 議員

**<子どもの安全>**  
「区の委託の保育中に幼い命が失われたという大変痛ましい結果」に対し「調査委員会というようなものを立ち上げて、…全部調べていきたい」と答弁した。2カ月が経過し「何が究明されたか」伺う。

**区長** 家庭福祉員安全対策等検討委員会を設置し、当該家庭福祉員の聞き取り調査のほか他家庭福祉員から安全対策の意見聴取を行うなど、調査・検討を進めている。司法解剖では死因は不詳で、引き続き詳細な調査が行われているため、区として一定の結論が出せる状況にない。

**<清掃工場規模>**  
工場認可権限を持つ区長は目黒清掃工場規模縮小を決定すべきであるがいかがか。  
**区長** 東京23区清掃一部事務組合の清掃工場整備計画における焼却能力の確保に一定の合理性があり焼却炉の縮小は難しい。

**<PCB(※)処理対策>**  
処理計画策定途上だが、災害や紛失による環境汚染を防ぐため、区内事業者の状況や今後の処理工程について伺う。  
**区長** 東京都がPCB保管事業者から届出を受け管理している。区は、今後の国・都の動向や情報等を、適宜区内のPCB保管事業者等に周知していく。

**<住民自治>**  
パブリックコメント制度や住民説明会が形骸化している。実施計画、行革計画「生活圏域整備計画の検討」において、区民・職員参加での区民参画型改定作業を行っ

子ども家庭課の連携を強化せよ。  
**区長** (1)国の法律、都の条例、目黒区子ども条例の内容を十分に踏まえた上で、いじめ防止対策条例案の検討を進める。また、子育て家庭が地域の中で孤立することがないよう、今後も地域や関係機関と連携・協力して課題解決に取り組む。  
**教育長** (2)いじめに関する調査の実施・報告にあたっては、人権に配慮し、特段の注意を払っている。教育委員会と子ども家庭課の連携をさらに強化していく。  
**<要支援1、2の担い手>**  
平成27年度の介護保険制度改正で要支

たらどうか。  
**区長** 区政全般にわたる計画改定などの検討は、パブリックコメントや説明会の手法が、多くの意見を反映でき、効果・効率性の観点から望ましいと判断している。

**<個人情報>**  
区は、利用事務の厳密な事前の特定個人情報保護評価を行うことと、番号制度による無定形に広がる行政や民間利用による個人情報流出を防ぐための条例化を行うことを求める。  
**区長** 番号制度の導入に伴う特定個人情報保護評価は、指針にのっとり適正に実施する。今後、区の制度に課題が生じた場合は、番号法の基本理念を踏まえ規定を見直す必要性についても検討する。

**<新教育長の姿勢>**  
「教育こそ世界を変える一番強い武器だ」。しかし安倍政権は解釈改憲と、立憲主義の否定で、若い人たちを戦場へ駆り立てようとしている。この教育法制度改悪に反対の声明を上げるよう、また、平和教育を守り発展させるよう求める。  
**教育長** 目黒区教育委員会の教育目標を基本姿勢として、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」づくりを目指す。また、日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、偏見や差別をなくす人権教育を推進し、「世界平和の大切さ」などに関する教育を着実に進めていく。

**【用語解説】**  
※PCB:ポリ塩化ビフェニルの略称で、人や動物に有害のため製造が禁止されている。

援1、2の介護給付が外れる。65歳以上のボランティアポイント制度「めぐろシニアいきいきポイント事業」を充実させ、若い世代を含めた地域活動活性化に取り組む。地域との支え合いの仕組みを急げ。  
**区長** めぐろシニアいきいきポイント事業は、平成26年度の試行実施の状況を検証した上で、活動場所や支援内容等をさらに充実していく。現行事業の拡充等には、若い世代のボランティアなどサービスの新たな担い手の育成が重要と考える。社会福祉協議会や関係機関と連携しながら、検討を進めていく。

**<新型インフルエンザ対策計画>**  
4月以降、MERS(※)という呼吸器病も中東で発生し、新型ウイルスが区内に侵入すると8万人の感染が予想されている。マスクの正しい着用と新型について感染力・毒性についてもっと周知すべきではないか。  
**区長** 新型ウイルスの病原性や感染力などの特性は、実際に発生しないと分からないが、性質は季節性インフルエンザと基本的には同じである。手洗い、咳エチケット等の励行、正しいマスクの装着は重要であるため、平時から普及啓発に努める。

**【用語解説】**  
※MERS(メース)：中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome, MERS)の病原体であり、SARSコロナウイルスに似たコロナウイルス(ベータ型)で、2012年にイギリスロンドンで確認された。